

第2回例会報告（2018年10月発信）

大きな台風がいくつも訪れた後、涼しげな秋の朝を感じるようになりました。幼稚園は運動会の季節。子どもの元気な姿が見られます。

さて、広島支部では、本年度第2回例会を9月23日（日・祝）（比治山大学付属幼稚園ホール）を実施しました。20名の熱心な先生方の参加がありました。

講師は、坂本真理子先生（国立音楽大学教育音楽学科（リトミック）卒業、全日本リトミック音楽教育研究会常任理事）でした。



午前は、まず自己紹介で自分の名前を表現することから始まりました。自分の名前のひらがな一つひとつを音や動きで表現していききました。ひらがなの持つイメージからいろいろな音が生まれてきました。文字の一つひとつを表現することは普段あまりすることがないため、すごく新鮮でした。また、同じ文字でも人によってイメージは異なるため、様々な表現があり、みんなで表現し合う面白さを改めて感じました。



他にも、「不思議な箱」からイメージを膨らませ、みんなで輪になり表現したり、鈴を用いて音を聞き分けるゲームをしたりと、様々な実技がありました。



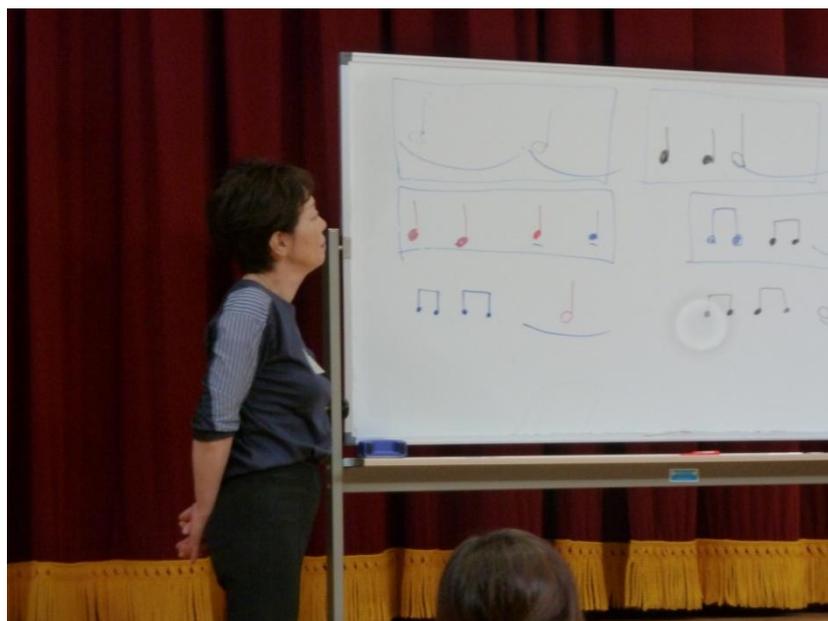


拍を感じながら表現する実技では、二分音符、四分音符、八分音符のリズムを意識し、ゆっくり動いたり、速く動いたり、速さの持つエネルギーの違いを十分感じながら取り組むことができました。



午後はリズムフレーズと曲作りについてでした。リズムフレーズでは、「虫の音」の拍に合わせて体全体を使って表現しました。拍の長さが大きくなればなるほど、空間や動きが大きくなると感じまし

た。また、「問いと答え」でフレーズがより意識出来ることを、体験を通して学びました。曲作りでは、音階を分かりやすくするために1人1音を担当し、担当の音を声に出すことで、メロディーを作りました。子どもにとって視覚的で分かりやすいだけでなく、体を使って表現することで、より楽しめると感じました。



楽しく動きながらリトミックの基本を学べる研修会でした。今回もすぐ実践できる楽しいアイデアが盛り沢山でした。

次回は、第3回支部例会です。12月2日（日）、講師は馬杉知佐先生です。比治山大学短期大学部附属幼稚園で行います。多数のお越しをお待ちしております。